

富良野市教育委員会だより

# ZEROふらの

発行：富良野市教育委員会  
住所：富良野市若松町5番10号  
電話：0167-39-2320  
FAX：0167-23-3528  
Email：kyouiku-ka@city.furano.hokaido.jp

## 教育委員会の活動

### 樹海学校開校式

令和4年4月6日（水）開校式及び入学式に参加



富良野市初の義務教育学校「樹海学校」が開校しました。近内教育長から森田校長へ新しい校旗が手渡されました。

また、3名の新入生を迎え、新校歌を作曲した西本夏生さんのピアノ演奏により全児童生徒にて校歌が斉唱されました。

### 市町村教育委員会オンライン協議会研修

令和3年2月10日（木）全国の教育委員と情報・意見の交流として、ウェブ会議システム「Zoom」によるテーマ別分科会に参加

参加者：津山委員・菅野委員・渡邊委員

- ①地域と学校の連携・協働について・・・津山委員参加
- ②学校における働き方改革について・・・菅野委員・渡邊委員参加
- ③教育の情報化について・・・渡邊委員参加
- ④過疎地域の小規模校の在り方について・・・津山委員・菅野委員参加



## 教育長通信 ヤングケアラーについて思うこと

～子どもたちが健やかに成長できる社会をめざして～

皆さんは、ヤングケアラーという言葉を知っていますか？

ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話を日常的に行っている子どものことです。子どもが家事や家族の世話をすることは、家族が支え合うことでもあり、ごく普通のことだと思われるかもしれませんが、ヤングケアラーは、年齢等に見合わない重い責任や負担を負うことで、普通の子どものためには当然である、勉強に励む時間や部活動に打ち込む時間、友人と趣味や交流で過ごす時間など、子どもとしての時間を十分に確保できていない場合があります。

このことは、未来を担う子どもの健やかな成長を妨げることに繋がるとともに、子どもの権利を侵害するものでもあります。これらの状況から子どもを救うためには、周りの人たちが気づき、声をかけ、手を差し伸べることで、ヤングケアラーが「自分は一人じゃない」「誰かに頼ってもいいんだ」と思える環境づくりをすることが必要です。

現在の社会においては、地域の人たちのつながりの希薄化や少子高齢化、核家族化の進展、共働き世帯やひとり親世帯の増加などにより、家庭における子どもへの過度な負担が発生する可能性が高まることが懸念されます。そのため、子どもの状況を適切に把握し、子どもだけではなく家庭そのものを支援する仕組みづくりをする必要があると思います。

子どもに関わる私たちみんなが共通認識を持ち、学校、家庭、地域住民、教育や医療・福祉関係の機関や団体などが連携した取り組みを行うことで、すべての子どもにとって健やかに成長し、そして幸せに暮らせる地域社会になることを願うところであります。

## 教育委員会会議録（令和4年1月～5月）議題一覧より抜粋

- 1月24日（月） ○議案第1号 富良野市立学校設置条例の一部改正について
- 2月21日（月） ○議案第2号 第2次富良野市子どもたちのための食育ガイドラインの策定について
- 3月23日（水） ○議案第1号 富良野市小中学校通学区区域規則の一部改正について  
○報告議案第2号 令和4年度富良野市一般会計補正予算の報告（専決処分）について
- 4月19日（火） ○議案第1号 令和4年度富良野市育英基金育英生の選考について
- 5月26日（木） ○議案第1号 富良野市社会教育委員の委嘱について

定例会は傍聴もできますので、教育委員会に事前にご連絡ください